ホームページへの掲載

2月14日掲載

岐阜県立東濃高等学校

学校長 平井 学

学校住所 可児郡御嵩町御嵩 2854-1

0574-67-2136 fax0574-67-6204

ホームページ <http://school.gifu-net.ed.jp/tono-hs/>

- 1 会議の名称 平成29年度 第2回学校評議員会 (岐阜県立東濃高等学校)
- 2 会議の構成
委員 齋藤 之男 御嵩町ボランティア「輝き隊」
田中 妙子 税理士
平井 繁幸 御嵩町中公民館厚生員
鍵谷 欣弘 東海化成工業株式会社人事総務部課長
嶋崎 友美 東濃高等学校PTA会長
学校関係者 平井 学 校長
片山 澄美 教頭
林 靖 教頭
吉田 益穂 教務部長
大島 直人 生徒指導部長
三田村広隆 進路指導主事
- 3 会議の目的 本校の教育活動について各委員に提言及び助言を求め、もって今後の学校運営の参考とするなど、本校教育の発展に資することを目的とする。
- 4 会議の開催 平成30年1月23日(火) 10:20~11:50
岐阜県立東濃高等学校 会議室
委員4名と学校関係者6名出席
- 5 会議の概要 ①地域づくり類型学習成果報告会見学
②地域課題を踏まえた活力ある学校づくりについての本年度の活動
③意見交流

会議資料

- (1) 会議レジュメ
- (2) 地域づくり類型授業概要
- (3) 今年度の新聞記事
- (4) 月刊「TONOKO」

<p>今年度の活動等 校長 平井 学</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本校のキャリア教育の実績が評価され文部科学大臣表彰の受賞 ○6年間の1年生に対するキャリア教育プログラムおよび4年間の地域づくり類型の授業などにより、多様な生徒に対して具体的な将来像を描けるよう指導してきた。 • 演劇表現ワークショップ等を通じた自己肯定感の育成 ○3年生の中に公務員を受験した者が複数出てきたが、次の課題が学力であることが浮き彫りとなった。 • 人材の活用 ○本校の資産である外国籍生徒の優秀な語学力を地元の小学校の英語教育に生かしてもらい、同時に本校外国籍生徒の自己有用感を育てる機会とした。 ○御嵩町の各種イベントに生徒会又は部活動として参加し、本校をアピールした。
<p>各委員より 意見 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今日の発表を見て、無人駅の活用はとて素晴らしい提案だと思った。また、公民館の工夫では、御嵩町の老人も可児の老人のように元気になれる企画が良い。
<p>意見 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 近所に住んでいるが東濃高校は Black Box で、よく知らないし、知ろうともしていなかった。こういう立場になって見ると、良い点が多々ある。一般の人に知ってもらうには、新聞に掲載されることが一番だと思う。 今日の発表は他の生徒のモデルとなるようなすばらしいものだった。今回の提案が実現し、広見線が活性化すれば大きなアピールとなる。
<p>意見 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今日の発表はすばらしかった。自分も他のところでプレゼンを行ったが、今回の発表を事前に見ていれば、もっとうまくできたかもしれない。授業で用いていた KJ 法を学んでいることにも感心した。少子高齢化のところでは、御嵩町だけでなく岐阜県や全国まで視野を広げてもよかったのではないか。当社に在籍する貴校卒業生が1年生のキャリア教育プログラムにおいて、当社の説明をする予定である。このようなつながりを大切にしていきたい。
<p>意見 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 商工会の代表として、御嵩町の活性化を考えてくれてありがたい。公民館の講座に高校生が参加してくれれば、講座が長続き

会議のまとめ	<p>するのではないだろうか。高校では自主性を育ててほしい。今、世の中は人手不足である。地元就職する人を育ててほしい。</p> <ul style="list-style-type: none">• 本日の評議員会では生徒の発表に対する高い評価をいただき、更なる発展の示唆をいただいた。これらの意見をもとに、来年度以下の事柄に気をつけていきたい。 <ul style="list-style-type: none">○新聞等広く伝わるメディアへ情報を発信すること○地元で貢献できる人材の育成に努めること○演劇表現ワークショップとキャリア教育プログラムを継続しコミュニケーション能力の育成を図ること
--------	--